

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌唱や器楽、創作の表現活動に積極的に取り組む生徒が多く、合唱等様々な活動を楽しんで行う生徒が増えてきた。
- ・楽譜の音符を目で追うようになり、正確な音程やリズムを意識して演奏する姿が見られた。

(2) 課題

- ・楽譜上にある記号や音符、休符の知識について、学習教材で適宜確認が必要。
- ・思考・判断・表現における課題では学んだことをより深く考え、感じた印象につなげられる生徒の批評点を参考にするなど、全体で共有する。
- ・器楽分野のアルトリコーダーの基礎的な奏法の定着。(タンギングや息の調整)

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音や音楽の聴き方を具体的に示し理解を深める。 演奏技術は練習回数を増やし、自信をもって演奏できるようにする。表現方法の具体的な技術を全体指導し、演奏に対する評価を適宜行う。	楽曲に対する考えや思いを持たせ、適切に表現するために、感じた印象と音楽要素を結びつけ、説明できることを意識させる。 題材ごとの注目する音楽の要素を示し、表現に関連付けて考えさせる。	学習内容を活かした演奏や聴き取り、音楽作品、協同活動に対する適切な自己評価ができるよう、学習目標に沿った内容で振り返りができるように促す。そして、次の時間への課題を見出させる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音や音楽の聴き方を示し、広く考えさせ理解を深める。 演奏技術は毎時間の練習時間を確保し継続的に行い、自信をもって演奏できるようにする。表現方法の技術を指導し、演奏に対する評価や課題を個々に明確にする。	楽曲に対する考えや思いを深く考えさせ、適切に表現するために、感じた印象と音楽要素を結びつけ、説明できることを意識させる。 楽譜から感じ取れる表現方法を読み取り、そこからよりよい表現を追求させる。	学習内容を活かした演奏や聴き取り、音楽作品、協同活動に対する適切な自己評価ができるよう、学習目標に沿った内容で振り返りができるように促す。学習内容を次の学習にも活かすよう、課題を見出させる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏技術は毎時間の練習時間を確保し継続的に行い豊かな表現を追求させる。 表現方法の技術を指導し、少人数での音楽活動を取り入れ、相互評価の中で技術向上を目指す。	楽曲に対する考えや思いを広く深く考えさせ、適切に表現するために、感じた印象と音楽要素を結びつけ説明できることを意識させる。さらに、楽曲の背景や作曲者の思いに寄り添い、よりふさわしい音楽表現を追求させる。	学習内容を活かした演奏や聴き取り、音楽作品、協同活動に対する適切な自己評価ができるよう、学習目標に沿った内容で振り返りができるように促す。学習内容を次の学習にも活かすよう、課題を見出させる。

